

# インクルーシブな学校をめざして！

～全ての子供たちにとって居場所となることが文化となっている学校に～

学校には多様な子供たちがいます。

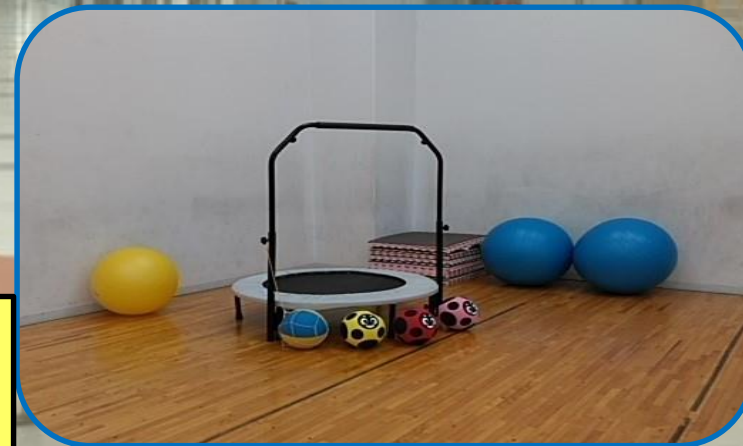
多様な子供たちも「ふろしきで包み込む」ような「インクルーシブ(包括的)な学校」が当たり前になり、文化になることをめざします！

常に「オープンドア」の心で！

共生社会で活躍できる人材を育てる

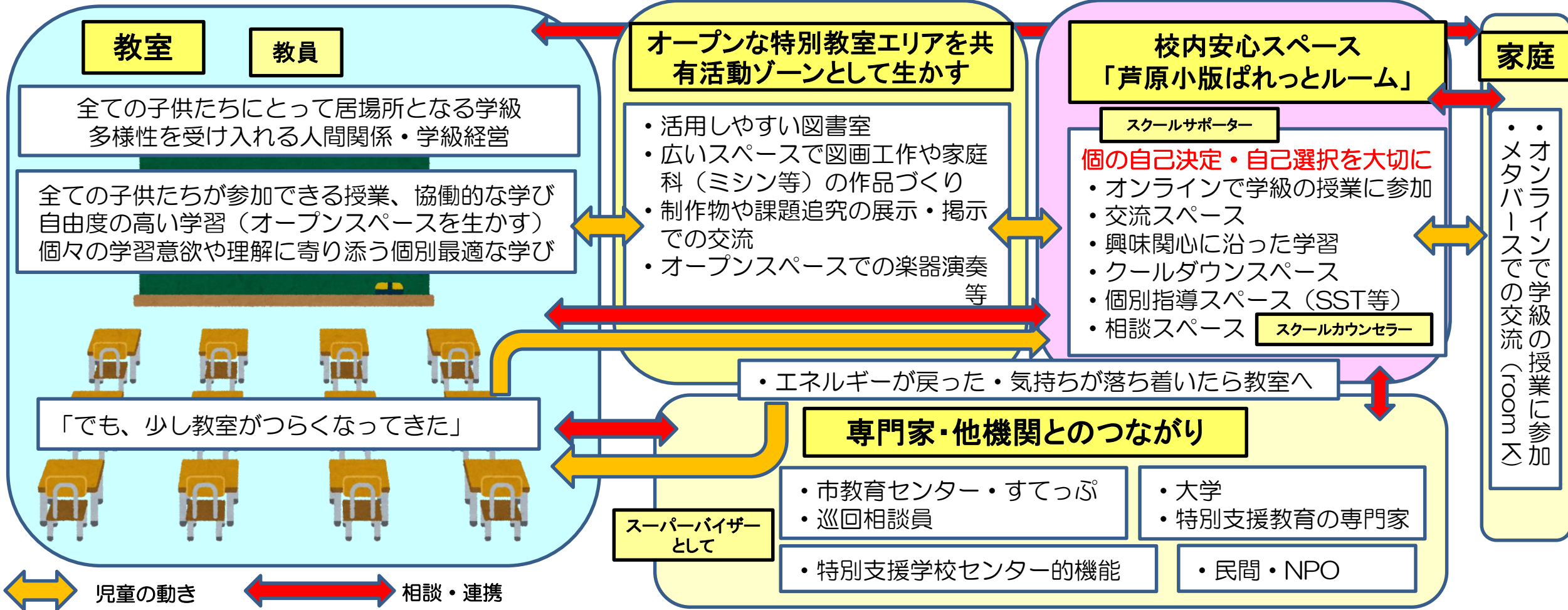


校内安心スペース  
「芦原小版ぱれっとルーム」  
の整備が進みました



戸田市立芦原小学校

**「芦原小版ぱれっとルーム」の定着により、校内安心スペースへの理解は進んでいます！**  
**「学校では教室でみんなが同一歩調で同じ内容を学ぶことが基本」という「当たり前」の問い直しを継続する。**



本校は廊下との境目のない教室・特別教室が多いので、出入りしやすく、授業においても空間を活用した学習がしやすい。また、フリースペースを有効活用すれば、友達との距離感を意識せずに学習することができる。安心を求めて「ぱれっとルーム」を活用する児童も状況に応じて特別教室エリアを活用することで、教室とのゆるやかな交流を進めることができる。教職員で共通理解し、「ぱれっとルーム」を活用し、**自己決定・自己選択を大切にしながら**多様な子どもたちの多様なニーズに柔軟に対応することによって、不登校を未然に防いだり、教室へ戻ることができるケースもあった。また、安心スペースがあることで、全ての子どもたちにとって学校が居心地のよい場所となる。



# インクルーシブな学校をめざして！

～全ての子どもたちにとって居場所となることが文化となっている学校に～

- ・学校に登校することがつらい児童がいる。
- ・登校できても、教室で過ごすことができない児童がいる。
- ・教室で学習していると、途中でつらくなる児童がいる。

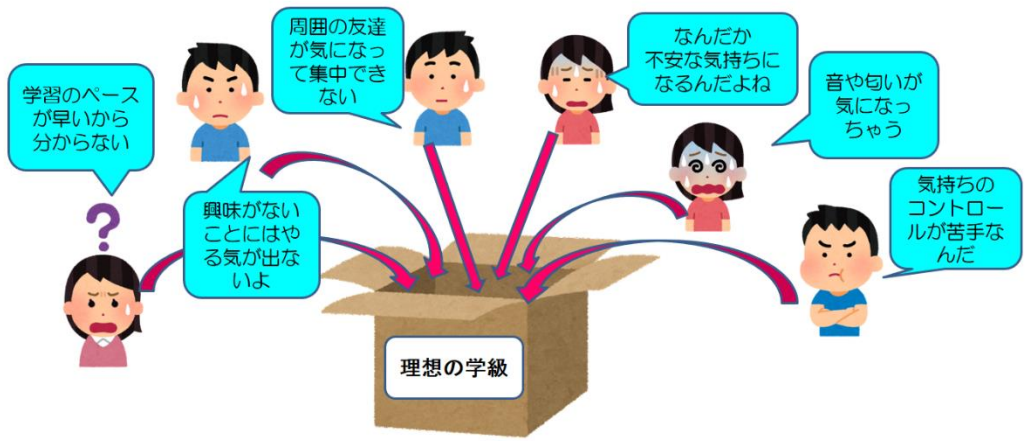
ぱれっとルーム  
の活用

- ・自己決定・選択した内容で過ごせる安心感。
- ・落ち着いた環境で、自分のペースで取り組める安心感。
- ・教職員の声掛けで、エネルギーが向上。

登校する日・  
教室へ行く日  
が増えた児童も！

学校には多様な子どもたちがいます。多様な子どもたちも「ふろしきで包み込む」ような「インクルーシブ(包括的)な学級・学校づくり」への転換を進めています。

教師が作りたい学級という「箱」に合わせて  
児童を育てるという発想からの転換



学級経営  
の転換

目の前にいる児童に合わせて  
「ふろしき」で包み込む学級へ



たまに  
教室へくる友達も  
温かく受け入れる！

課題となっていることは……

- ・ぱれっとルームで過ごす児童の支援方法を明らかにし、支援者が共有できるプランシートを作成していく必要がある
- ・教職員の異動があっても、「全ての子どもたちにとって居場所となる学校づくり」が受け継がれるシステムづくりと推進者を育成する必要がある

# 「インクルーシブな学校づくり」を実現するために ～全ての子供たちにとって居場所となることが文化となっている学校に～

- **インクルーシブな学校づくりにつながる新しい学びや学級経営等の理解と人材育成**  
教職員の研修を充実させ、インクルーシブな学校づくりの風土を根付かせるとともに、推進役となれる人材を多数育成する。  
「全ての子供たちにとって居場所となる学級経営」  
「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」  
「画一的・固定的な姿から脱し、時代の変化、社会的な課題に対応する授業づくり」 等
- **個に応じた指導につなげるための教育的ニーズの把握や支援状況への客観的な助言**  
校内組織を効果的に活用できるような体制づくりのために、専門家による巡回相談や外部機関からの助言を受ける。  
「よりよい『ぱれっとルーム』の運営」  
「教室環境、学級経営の状況に係る外部評価」  
「ぱれっとルームで過ごす児童の個に応じた支援方法を明らかにし共有できるプランシートの作成」  
「学級経営におけるグッドプラクティスを明らかにし、整理して共有していく」 等

インクルーシブな学校づくりを文化にするためには、毎年の教職員の異動があつたとしてもその風土を根付かせるインクルーシブな学校づくりへの理解と人材育成それに向けた研修が不可欠である。また、個に応じた指導に向けて教育的ニーズの把握や支援状況への客観的な助言を得るために専門家や外部機関の力も継続して取り入れることが必要である。多様性を受け入れ、全ての子供の居場所となることが文化となった学校で学んだ子供たちは、これからの共生社会で活躍する人材となることができる。常に「オープンドア」の心をベースとした持続可能なインクルーシブな学校づくりを目指したい。